



発行所  
自由民主党本部  
郵便番号100-8910  
東京都千代田区永田町1-1-1 2F  
電話 東京 03-3581-1621(代通)  
振替口座 東京00930-4-19518  
定価 1部105円(税込)  
(毎週火曜日発行)

自由民主党ホームページ URL: <http://www.jimn.jp/>

# 自由民主

LIBERAL & DEMOCRATIC

## 号外

自由民主党青森県第2選挙区支部

T034-0031 十和田市東三番町137-7

TEL.0176(24)3844



江渡あきのり  
プロフィール

昭和59年(平成7年) 光星学院八戸短期大学講師  
昭和59年 特別養護老人ホーム第一園 主任生活指導員  
昭和60年 児童養護施設おたけの学園 園長  
昭和62年 知的障害者更生施設一部 副理事  
平成3年(平成12年6月) 衆議院議員(一期)  
平成14年(現在) 社会福祉法人至誠会 理事長

## 語る 江渡あきのりさん

自由民主党青森県第2選挙区支部長

自民党総裁選での小泉総裁の再選を受け、十月衆議院解散、十月総選挙の流れが強まりつつある。江渡聡徳さんにとって、国政への復活を賭けた決戦の時がいよいよ訪れる。二〇〇三年六月の前回衆院選から三年が過ぎた。くまなく選挙区内を歩き、有権者とのふれあいを続け、江渡さんは長引く不況に苦しむ中小企業者や、将来への不安をおびえる高齢者の思いを述べたりも強く感じている。「県民の声を国に届け、政策に反映させたい」。使命感に燃える江渡さんには、郷土に対する熱い思いを聞いた。

## 夢を地域に。 郷土の未来をみつめよう

「いよいよ衆議院選挙という雰囲気になってきました。」「前回衆議院選挙での苦い経験から三年余りがたちました。この間、お世話になった皆様へのごあいさつ回りを通じ、「景気を良くしてほしい」「老後の不安を取り除いてほしい」という心からのお訴えを、日も欠かさずうかがってきました。苦しい三年間でしたが、自分には何が足りなかったか、また国政の場で自分が何をなすべきか、より鮮明に見えてきたと思います。」

「どんなことを掲げて地元有権者に訴えますか。」「柱は三つ。医療、福祉の充実、農林漁業の振興、教育改革です。私はそれぞれです。具体的は何を指すか、有権者の皆様にお示しします。それが、政権政党である自民党に所属する者の務めだと思っております。」

「まず、医療、福祉の充実について、どう語り組みますか。」「少子化対策の観点から、周産期医療の充実、未就学児童の医療費無料化を目指します。また、保育所が受け入れ可能な児童数を増やし、待機児童ゼロを目指します。各市町村と密接に協力し、自治体、地域住民、企業が一体となった子育てサポートの実現に取り組みます。」

「実現すれば素晴らしいことで、お金がかかるのではないですか。」「その通りです。予算を確保しなければどんなに素晴らしい政策でも実現できません。私は「三つの方法」、十分な医療、福祉向け予算を確保したいと考えています。一つは、国から地方体の財源委譲です。財源が地方自治体に移れば、何にお金をかけるかを自分

で選べるので、伸ばしたい分野に重点的に予算を割くことができます。公共事業についても、地方の視点が必要 unnecessary の選択ができるわけです。実現すれば、特徴ある地域作りが可能になります。」

「もつこの方法とは何ですか。」「雇用拡大、地方経済の好転による税収増です。これについては、皆さんに提案したいことがあります。放射線によるガン治療の機械「シンクロト」を選挙区内の医療施設に備えることです。この機械は、初期のガン患者なら一週間はこの放射線照射だけで、手術なしで治癒できることが多く、という画期的な装置なのですが、東北には一つもありません。もし設置できれば、患者さんは一週間で済んで治療されるわけですから、医療先進地域といえ、医療といた分野を、雇用の拡大と連動させることが大事なのです。」



「地方経済の好転には、さらに幅広い施策が必要ではないですか。」「ええ、そうですね。一つ目の柱である、農林漁業の振興に話を移します。内閣府は七月一日、新たな食品安全委員会

で選べるので、伸ばしたい分野に重点的に予算を割くことができます。公共事業についても、地方の視点が必要 unnecessary の選択ができるわけです。実現すれば、特徴ある地域作りが可能になります。」

「もつこの方法とは何ですか。」「雇用拡大、地方経済の好転による税収増です。これについては、皆さんに提案したいことがあります。放射線によるガン治療の機械「シンクロト」を選挙区内の医療施設に備えることです。この機械は、初期のガン患者なら一週間はこの放射線照射だけで、手術なしで治癒できることが多く、という画期的な装置なのですが、東北には一つもありません。もし設置できれば、患者さんは一週間で済んで治療されるわけですから、医療先進地域といえ、医療といた分野を、雇用の拡大と連動させることが大事なのです。」

「地方経済の好転には、さらに幅広い施策が必要ではないですか。」「ええ、そうですね。一つ目の柱である、農林漁業の振興に話を移します。内閣府は七月一日、新たな食品安全委員会

『自由民主』を定期購読しましょう。



ポイントはやります。



を免れさせ、食に関する産業の育成と、産地や商品表示の偽装など各種違反の予防や摘発の態勢を強化しました。これは政府が従来から漁業者や生産者重視から、消費者重視に政策を転換したということです。私はこの政策転換を、豊富な農林漁業資源に恵まれた青森県にとって、大きなチャンスだと考えています。魚や野菜など様々な農産物について、だれがどこで生産水揚げしたかが、目でわかるような体制を作り、付加価値の高い青森ブランドを創造したいと考えています。必ず、県産品の消費拡大、販路の拡大につながるはずで。」

「最後に、教育改革についていかがですか。」

「細かい指導が可能な少人数制の実現は言うまでもありませんが、私はその前提となる、教員の資質に目を向けたいと考えています。高校の先生が、高校の受験問題が解けないという信じられない現実がある以上、教師の知識・人格をしっかりと調査し、必要なら再トレーニングを施し、子供たちを教え導くのにふさわしい人材に育てることが必要です。まずここから手をつけたいと思います。」

「先の知事選で、自民党は三村さん推薦し勝利しました。自民党は三村さん一党しか選択して、ですが、今回立候補した方々の顔ぶれをもう一度思い出し、国とのパイプもある三村さんが一番知事にかわしいことは明らかです。その三村さんが過去のしがらみを乗り越えて、自民党とともに新しい青森を作ろうというのですから、私も、良きライバル関係だ。過去を乗り越え、一生懸命応援いたします。今後は三村さんとともに、すばらしい郷土作りを努力するつもりです。」

●顔の見える「青森ブランド」確立

●農林漁業の足腰強化



青森ブランド

**② 農林漁業の振興**

- 「あんしん小児医療」を実現します。
- 「あんしん子育て」を実現します。
- 「最新がん治療設備」を誘致します。

**① 医療・福祉の充実**

えと  
**江渡あきのり**さん

**3つの約束**

**③ 教育改革**

- 情報公開で学校をレベルアップ
- 学校、地域、家庭の複合教育の実現



お気軽にお立ち寄り下さい。

**江渡あきのり後援会事務所**

〒034-0003 十和田市元町東3-3  
TEL.0176-21-3280 FAX.0176-21-3281

『自由民主』を定期購読しましょう。